

令和元年度
安来市地域包括支援センター事業報告書

I. 総合相談支援業務	・ ・ ・ ・ ・	P1
II. 権利擁護業務	・ ・ ・ ・ ・	P3
III. 包括的・継続的ケアマネジメント業務	・ ・ ・ ・ ・	P4
■個別地域ケア会議	・ ・ ・ ・ ・	P4
■校区別地域ケア会議	・ ・ ・ ・ ・	P7
■安来市地域ケア推進会議	・ ・ ・ ・ ・	P8
IV. 介護予防ケアマネジメント業務	・ ・ ・ ・ ・	P10
V. 一般介護予防事業（住民運営通いの場／こけない からだ体操）	・ ・ ・ ・ ・	P11
VI. 認知症施策推進事業	・ ・ ・ ・ ・	P13
VII. 組織運営	・ ・ ・ ・ ・	P17

安来市地域包括支援センター
（高齢者まるごと相談センター）

I. 総合相談支援業務

1. 相談件数・内訳

- (1) 包括支援センターと市内3ヶ所の在宅介護支援センターに総合相談窓口を委託実施した。
また、委託先センターとの連絡会をはじめ、地域ケア会議などを通じて地域の高齢者の実態把握や、関係機関との地域支援ネットワークづくりに努めた。

相 談 件 数				
年 度	H 2 9 年 度	H 3 0 年 度	令 和 元 年 度	対 前 年 比
実 人 数	1,011	1,118	900	▲0.8 倍
延相談数	1,825	1,867	4,593	2.46 倍

内 容 別 件 数 (重複あり・延べ数)				
内 容 \ 年 度	H 2 9 年 度	H 3 0 年 度	令 和 元 年 度	対 前 年 度 比
認知症に関すること	217	747	1656	2.21 倍
困難事例に関すること	153	26	176	6.76 倍
高齢者虐待(疑含む)に関すること	37	22	185	8.40 倍
生活困窮に関すること	33	36	215	5.97 倍
状況(実態)把握に関すること	83	290	1238	4.26 倍
入退院支援に関すること	84	169	629	3.72 倍
ゴミ屋敷に関すること	-	2	49	24.5 倍
介保申請・サービスに関すること	679	656	2263	3.44 倍
福祉用具・住宅改修に関すること	158	109	280	2.56 倍
障がい・難病に関すること	36	55	463	8.41 倍
施設入所支援サービスに関すること	58	39	152	3.89 倍
ケアマネ支援に関すること	16	50	341	6.82 倍
成年後見に関すること	6	9	86	9.55 倍
金銭搾取・消費者被害に関すること	-	-	41	-
家族不和に関すること	-	-	373	-
地域とのトラブルに関すること	-	-	175	-
8050・ダブルケアに関すること	-	-	157	-
依存症(疑い含む)に関すること	-	-	77	-
介護疲れに関すること	-	-	440	-
社会的孤立に関すること	-	-	203	-
苦情に関すること	3	14	30	2.14 倍
連絡・伝言(担当ケアマネ問合せ)	-	-	229	-
その他(上記以外のもの)	302	258	768	2.97 倍

新：相談管理データベースシステム「ゆめと」を導入。

- ①その他の主な項目…アルコール問題、免許返納・運転に関すること。すまいに関すること。
- ②複数の課題を抱えるのは実人数 331 人あり、一人あたりが抱える課題の平均は 2.66 個であった。

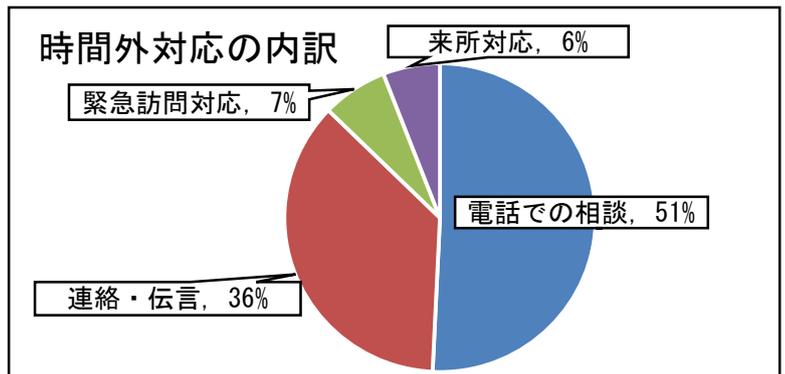
(2) 新規件数の相談経路

相談経路区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度対比
本人	50	57	120	2.10倍
家族・親族	235	250	400	1.60倍
介護支援専門員	13	19	61	3.21倍
行政	26	37	40	1.08倍
医療機関	106	141	170	1.20倍
民生児童委員	52	57	80	1.40倍
包括支援センター	30	31	28	▲0.90倍
近隣住民・知人	15	22	14	▲0.63倍
警察	2	5	17	3.4倍
介護事業所	63	3	73	24.3倍
その他関係機関	15	20	30	1.5倍
計	607	722	1033	1.43倍

2. 時間外・休日相談内訳及び対応

新：(1) 時間外・休日相談の実施、相談対応件数は573件、対応時間は延べ約188.1時間

時間外相談件数 573件	
内訳	件数
電話での相談	291
連絡・伝言	209
訪問等の緊急対応	39
時間外の来所対応	34



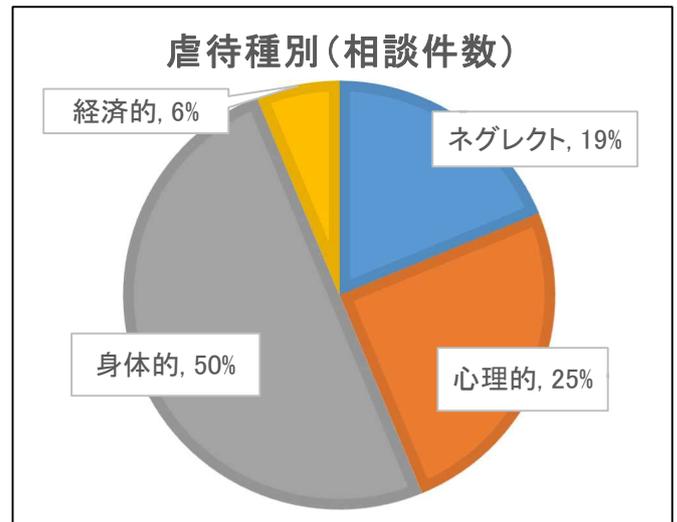
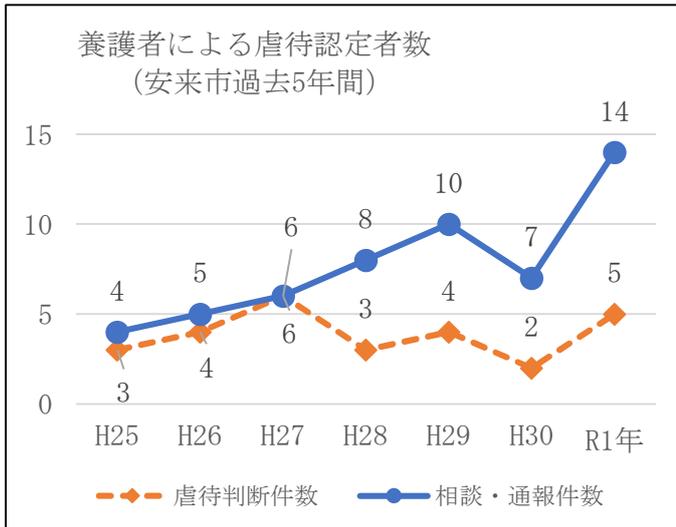
(2) 主な対応事例

- ① 民生委員より、一人暮らしの方の安否確認の同行の依頼があり訪問。
(意識不明で倒れているのを発見。警察、病院と連携し入院へつなげ、一命をとりとめた。)
- ② 認知症の高齢者の行方がわからなくなり、包括職員等関係者で本人の行きそうな場所を搜索。
(無事発見し、家族が帰宅するまで自宅で見守り対応を行った。)
- ③ 民生委員より、一人暮らしの高齢者が急に動けなくなったので支援して欲しいと連絡があり対応。
(病院と連絡を取り受診等の同行支援を行った。)
- ④ サービス事業所から相談があり、心不全が増悪した一人暮らし高齢者の入院支援を対応。
(遠方の家族が到着するまで支援を行った。)
- ⑤ 平日に休みを取ることが難しい家族の希望に応じ、休日に面談し相談に応じた。
(介護離職も考えていたが、仕事と介護の悩みを聞きながら介護サービス等の利用を勧めた。)

Ⅱ. 権利擁護業務

1. 高齢者虐待

- (1) 市とコアメンバー会議を開催し、うち5ケース（身体的虐待 ネグレクト 経済的虐待）が虐待認定された。ケースごとに個別地域ケア会議等行い対応している。評価とモニタリングについては、高齢者虐待防止対策協議会で行っている。コアメンバー会議に至らなかったケースについては包括内で検討後、担当ケアマネ等と対応し、状況確認やサービス導入、変更、追加等を行っている。
- (2) 養護者による虐待
虐待と認められた件数：5件



2. 成年後見制度の利用促進

新：権利擁護推進セミナーの開催

日時：令和元年8月30日（金）
場所：安来商工会議所大ホール
参加人数：116名

3. 成年後見相談件数：8件（実人数）

連携先：社会福祉協議会（法人後見）、成年後見人、司法書士、金融機関
社会福祉協議会（日常生活自立支援事業）

4. 他機関との連携

- (1) 個別ケース会議 11ケース（困難事例、権利擁護、障がい、虐待、介護）
- (2) 個別地域ケア会議 19ケース（困難事例、権利擁護、虐待）
- (3) 他機関主催ケース会議参加 11ケース（基幹相談センター、施設、病院、社協）

5. 消費者被害の防止

安来市消費生活センターとの連携

- 5月：人権施策推進課との情報共有
- 11月：消費生活センターと情報共有
地域包括支援センターホームページに、消費被害に関する情報提供掲載

Ⅲ. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

1. 個別地域ケア会議（自立支援型ケアマネジメント会議）

■会 場：広瀬社会福祉センター「視聴覚室」

■会議の目的：自立支援・重度化防止に資するケアマネジメント実践力向上を目的とする

■アドバイザー：介護保険課・管理栄養士・歯科衛生士・主任介護支援専門員・リハビリ専門職・薬剤師

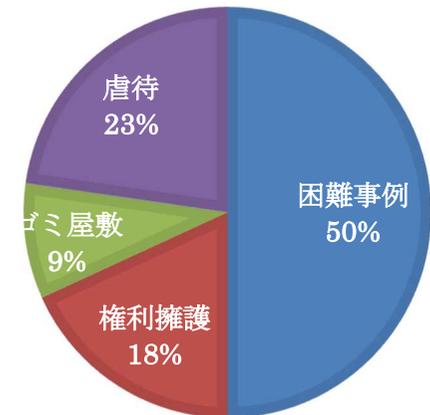
No.	実施日	対象者	参加数	会議内容・ケース (アドバイザーを交えた課題整理・助言)	主な意見・感想（会議の様子）
アドバイザー 研修会	4/23	アドバイザー・介護保険課 包括・通所介護事業所関係者	40名	「自立支援型ケアマネジメント会議の効果的なアドバイスについて」 講師：(株)ライフリー佐藤孝臣氏	
第1回 (事例検討)	6/19	事例提供者2名・アドバイザー サービス事業所・包括職員	19名	・生活不活発の改善を目指すケース ・生活困窮への支援と疾病予防を目指すケース	①専門職の同行訪問を希望（ケアマネ複数希望）
第2回 (評価報告)	7/17	評価報告者6名・アドバイザー サービス事業所・包括職員	20名	・評価報告6ケース（H30.事例検討分） （5ケースが在宅生活を継続）	②多職種の意見をプランへ反映したい（ケアマネ）
第3回 (事例検討)	8/21	事例提供者2名・アドバイザー サービス事業所・包括職員	20名	・社会参加と活動性の向上を目指すケース ・嚥下機能の改善と活動性の向上を目指すケース	③本人の希望を叶えるため、異なった視点からの意見が出ることに会議の意義がある（専門職）
第4回 (事例検討)	9/18	事例提供者2名・アドバイザー サービス事業所・包括職員	19名	・脳出血を発症後、孫の部活観戦を目指すケース ・難病（疑）患者の住環境整備を目指すケース	
第5回 (事例検討)	10/16	事例提供者2名・アドバイザー サービス事業所・包括職員	17名	・意欲を高め、調理の再開を目指すケース ・認知症の影響で残存能力の発揮が難しいケース	④ただ入浴や食事の世話をするのではなく、自宅でも実行できる関わりが重要と感じた（事業所）
第6回 (評価報告)	11/20	評価報告者6名・アドバイザー サービス事業所・包括職員	20名	・評価報告6ケース（H30.事例検討分） （全ケースが在宅生活を継続）	
第7回 (事例検討)	12/18	事例提供者2名・アドバイザー サービス事業所・包括職員	16名	・転倒をキッカケとした生活不活発の改善を目指すケース	⑤個別会議から地域課題の抽出に結びつく会議と感じた（事業所）
第8回 (事例検討)	1/22	事例提供者2名・アドバイザー サービス事業所・包括職員	17名	・精神疾患を有する独居高齢者ケース	
第9回 (事例検討)	2/18	事例提供者2名・アドバイザー サービス事業所・包括職員	16名	・視力低下が顕著な本人を恒例の妻が支えるケース	⑥自立支援の、効果・成果の数値化が出来ると良いと感じた（専門職）
今後の課題	① 評価指標の確立（効果・成果の見える化） ②専門職の同行訪問に関する本人・家族・ケアマネの意向確認				

2. 個別地域ケア会議（虐待・困難ケース）

No.	実施日	会場	参加者	内容
1	5/8	サービス事業所	8名	権利擁護（認知症）：愛犬について・在宅生活維持について
2	5/9	包括	9名	困難事例：施設入所の受入先がなく、支援の決定権を持つ人がいない。
3	5/22	包括	7名	困難事例：デイ利用料金の滞納と本人支援。現状確認と役割分担について検討
4	5/23	サービス事業所	8名	虐待：次男から身体虐待を受けた。次男の支援について確認を行う
5	5/27	社協	6名	虐待：今後の居住について確認を行う
6	5/28	サービス事業所	9名	権利擁護（認知症）：愛犬について・在宅生活維持について
7	6/17	交流センター	6名	権利擁護（認知症）：情報共有と今後についての協議
8	7/3	交流センター	13名	権利擁護（認知症）：緊急対応となった場合の対応と成年後見制度について検討
9	7/30	包括	6名	困難事例：現状確認後、課題と背景を検討し当面の対応・対応者の確認を行う。
10	9/4	包括	11名	困難事例（ごみ屋敷）：課題と背景を検討し当面の対応・対応者の確認を行う。
11	9/5	包括	6名	困難事例：精神疾患で通院中。今後の支援について
12	9/5	包括	6名	困難事例：施設入所提案するが在宅希望され金銭情報が不明。今後の支援について
13	9/24	包括	7名	困難事例：社協・民生委員が支援。次回フードバンク利用時、包括同行を依頼する。
14	10/28	包括	10名	困難事例：次の担当ケアマネが安心して支援できるよう情報共有・助言。
15	11/15	包括	5名	困難事例（ごみ屋敷）：今後の支援は、ごみ清掃か住み替えにするのかを検討する。
16	12/24	包括	5名	困難事例（近隣被害）：当該者についてのそれぞれの今後の支援について検討する。
17	12/25	包括	9名	困難事例：多方向に苦情やクレームを言い、事業所へも脅迫めいた要求。今後の支援策について検討
18	1/14	包括	7名	虐待(疑い)：被虐待者、虐待者の今後の支援について
19	1/22	包括	7名	虐待(疑い)：情報共有と課題、今後の方向性を検討
20	3/2	包括	7名	虐待(疑い)：今後の方向性と役割分担について
21	3/2	包括	7名	困難事例：今後の方向性と役割分担について
22	3/4	包括	5名	困難事例：情報共有と今後の支援について

地域ケア会議の内容

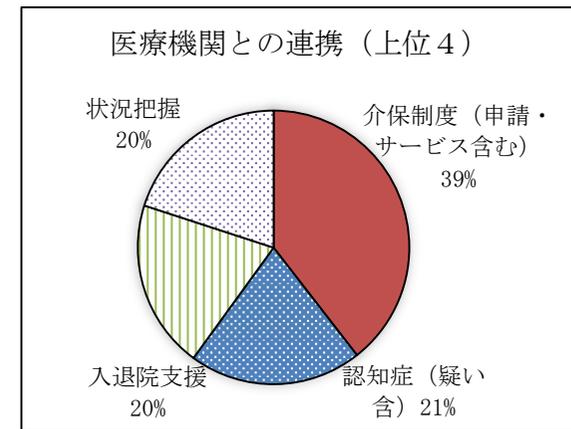
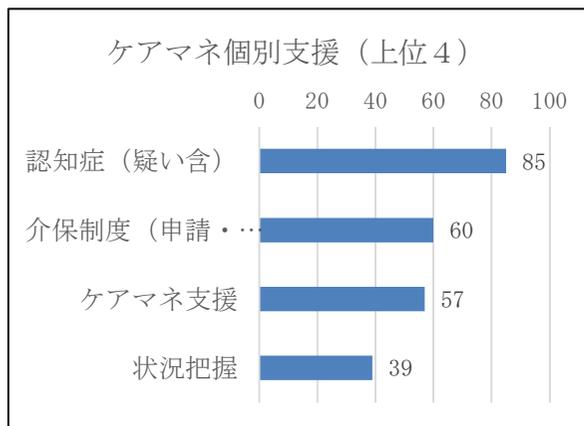
■ 困難事例 ■ 権利擁護 ■ ごみ屋敷 ■ 虐待



3. 介護支援専門員に対する支援

(1) 個別支援

- ・ 困難ケースに対するケアマネへの個別支援（161件）
- ・ ケアマネから包括への相談シートによる個別支援（7件）
- ・ 「社会資源情報誌」の提供（市内居宅介護支援事業所）



(2) 集団支援

No.	研修名	実施日	対象者	参加数	研修内容
1	安来市 新人介護支援専門員研修会	6/7	ケアマネ(3年未満) 居宅主任CM・包括	19名	(1) 行政説明「軽度者の方に対する福祉用具の取り扱いについて」「自立支援型ケアマネジメントからの気付き」介護保険課 主幹 原 稚佳子 氏 (2) 事例検討（グループ協議・発表）
2	安来市 主任介護支援専門員の集い（第1回）	7/12	市内主任CM	18名	(1) 安来市主任介護支援専門員連絡会の発足（案）説明 (2) グループワーク
3	安来市 主任介護支援専門員の集い（第2回）	12/10	市内主任CM	19名	(1) 行政説明「AIを使ったケアプラン作成と点検・モデル事業について」 講師：介護保険課 主幹 原 稚佳子 氏 (2) グループワーク
4	第3回在宅医療介護連携意見交換会 （安来市在宅医療支援センターと共催）	8/30	医療・介護関係者等	-	(講演) 特定非営利活動法人 総合ケアセンターのぎ 大江 範江 氏 (意見交換会) グループワーク
5	その他	医療機関との連携（644件）			①介保制度（申請・サービス含）…362件 ②認知症（疑い含）…189件 ③ 入退院支援…183件 ④状況把握…184件（上位4つ）

4. 介護給付適正化事業等

No.	業務内容	実施日	事業所数	実施数	備考
1	委託介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントのケアプランチェック	毎月	13事業所	643	ケアマネジメント委託先の業務管理・指導・助言
2	要介護認定有効期間の半数越え短期入所サービス利用に係るケアプラン点検	6・8 10・3月	3事業所	4	給付適正化の観点から、短期入所サービスの利用が認定有効期間の半数を超えている事例について、居宅サービス計画の点検・助言。

5. 校区別地域ケア会議

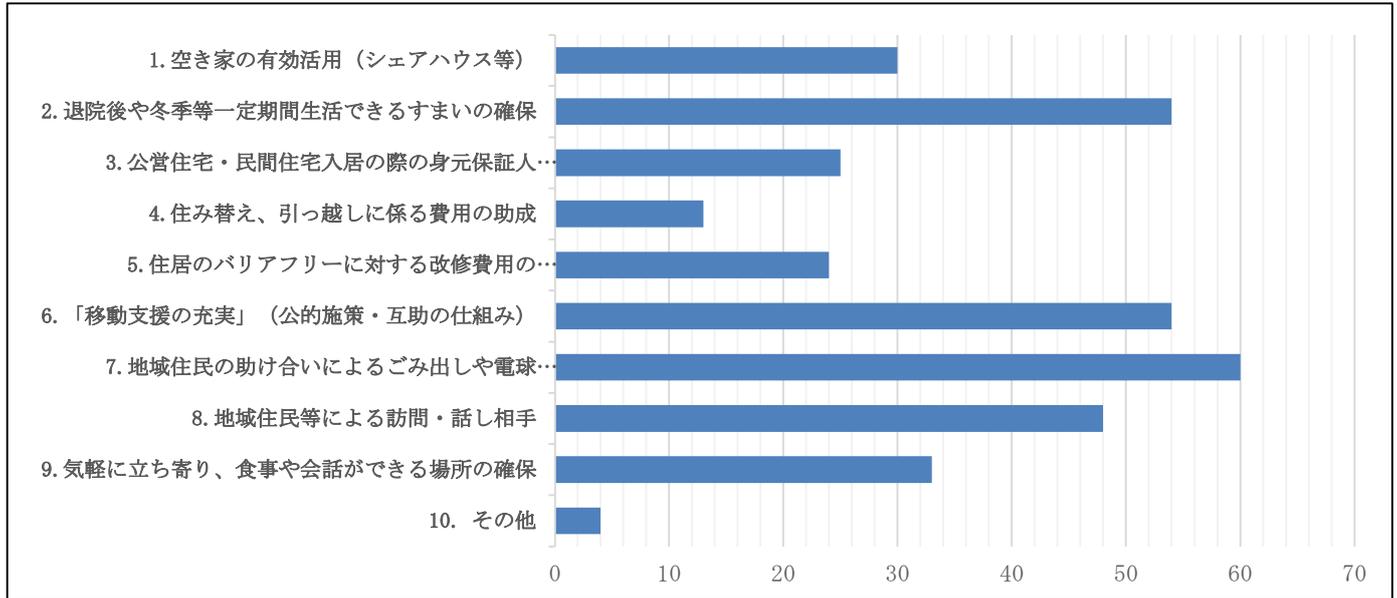
中学校区ごとに「すまいとすまい方」に関する民生委員、ケアマネジャーからの事例提供をもとに、2グループに分かれ、地域住民、行政職員、医療・福祉の専門職において課題を共有し、①提供事例をもとに課題解決にむけた協議②校区における「すまいとすまい方」についての課題について協議・意見集約を行った。

校区名	実施日	会場	参加者	「すまいとすまい方」の意見集約等
一中校区	12/17(火) ケアプランやすぎ 協力	安来中央交 流センター	39名	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員と介護支援専門員とで情報共有について共通認識できる場があると良い。 ○行政の取り組み補助金などの活用で、高齢者の見守り隊など仕組みづくりが必要ではないか。 ○シェアハウスがあれば良いと思うが、検討事項も多い。行政や関係者で「すまい方」について考えていく機会を作る
二・三中校区	11/7(木) しらさぎ苑 在宅介護支援センター 協力	広瀬社会福 祉センター	39名	<ul style="list-style-type: none"> ○対象者との関係づくりと関係者を巻き込む。 ○ゴミ分別の支援についてフォーマル、インフォーマル問わず、情報共有が出来ると良い。 ○地域住民が支えあう仕組みづくりを行政のサポートを得ながら進めていく。
広瀬中校区	9/11(水) 在宅介護支援センター ひろせ協力	広瀬社会福 祉センター	35名	<ul style="list-style-type: none"> ○デマンド交通の仕組みなどでできている地区もあるが、継続していくことへの不安や、仕組みがない地区がどのように体制を作っていくのかという検討も必要。 ○公営住宅は許可が下りれば改修は可能だが、自治会活動への参加が必要である。 ○空き家を有効活用できないか。
伯太中校区	10/2(水) 安来市地域包括支援 センター	いきいきの 郷はくた	36名	<ul style="list-style-type: none"> ○郵便局などの企業と行政が協力し、緊急時の情報提供など対応する協定がある。 ○事業所でも地域のミニサロンや茶話会に出かけていき、活動を支援しているため、つながりを広げていくこともできる。 ○移動支援について事業所の送迎車を利用する仕組みができないか。

校別地域ケア会議アンケート結果（抜粋）

126/149名（回収率85%）

Q. 「すまい」と「すまい方」について、住み慣れた地域で生活していくためには、どのようなことが必要と考えられますか？



Q. 「すまい」と「すまい方」について（課題・意見・要望等）

- 老人向けのシェアハウスも実際に行われている実例があれば参考になると思う。なければ安来市主導でモデル実践してみれば良いと思う。
- 一中校区は市街地が多いものの独居の方が増えている。独居でも通院や買い物が安全にできるよう、地域住民の手助けを受けて住み慣れた地域で自立した生活が出来ると良いと思う。
- 住み慣れた地域に住み続けたいと思う人が多いと思う。すみ続けるための支援の仕組みづくりが大切ではないか。住み替えには費用がかかる。簡単にはできない。何らかの助成が必要ではないか。
- 住みたい場所で住めるには、介護保険外のサービスが大変重要になってくると思う。行政も安来市独自のサービス、施設や法人も独自のサービスを検討していかなければ地域を守れないと思う。
- すまい、すまい方について話し合うのが難しい。高齢者は自分から弱みを訴えたがらないし、他人に立ち入ってもらいたくない様な考え方の人が多い。

6. 安来市地域ケア推進会議

日 時 令和2年2月24日（月・祝） 13:00～15:00

会 場 安来市総合文化ホールアルテピア（小ホール）

参加者 176名

内 容 新型コロナウイルス感染防止のため、講演のみの開催となった。

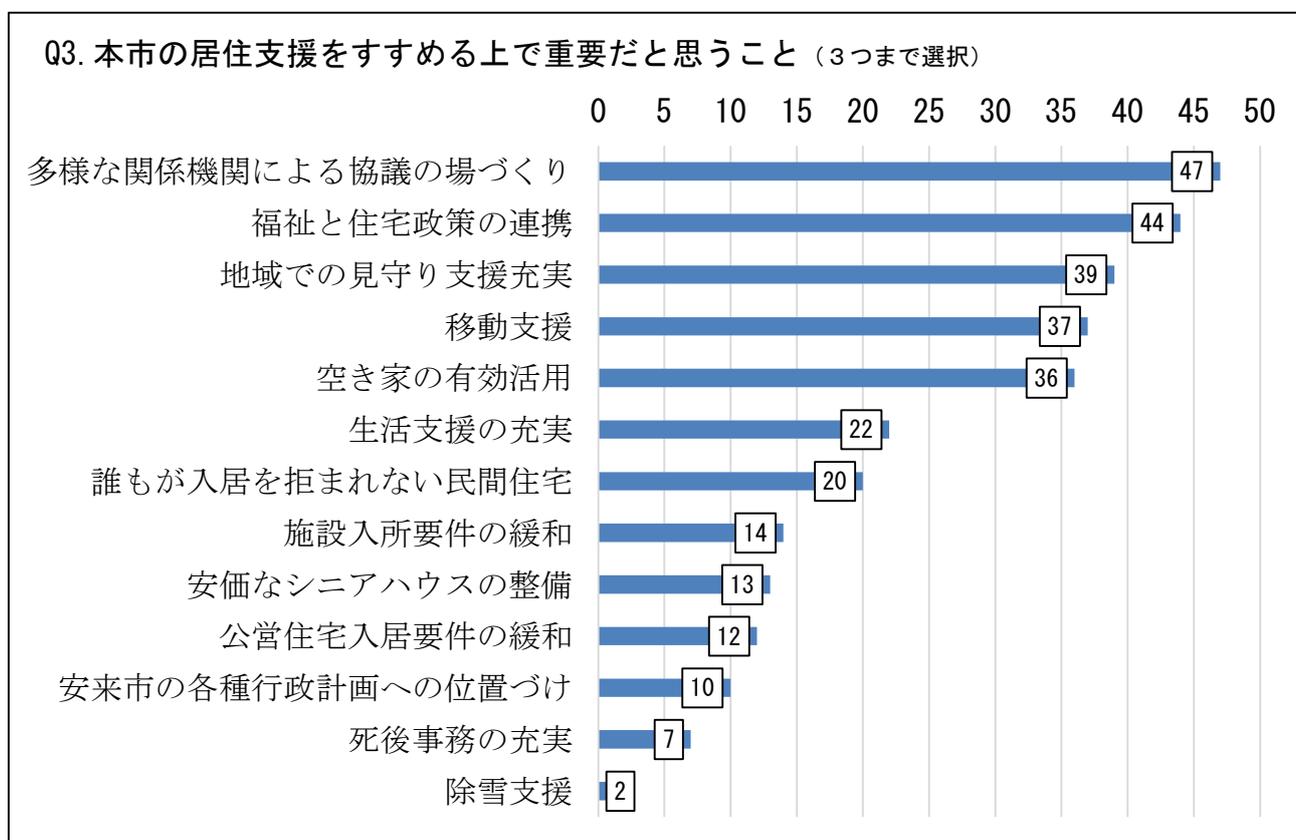
講演Ⅰ「福祉と住宅政策の連携について」

厚労省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室 室長補佐 濱島 章 氏

講演Ⅱ「これからの住まい・住まい方について」

一般財団法人 高齢者住宅財団企画部長 落合 明美 氏

安来市地域ケア推進会議アンケート結果（抜粋） 126名（回収率71.6%）



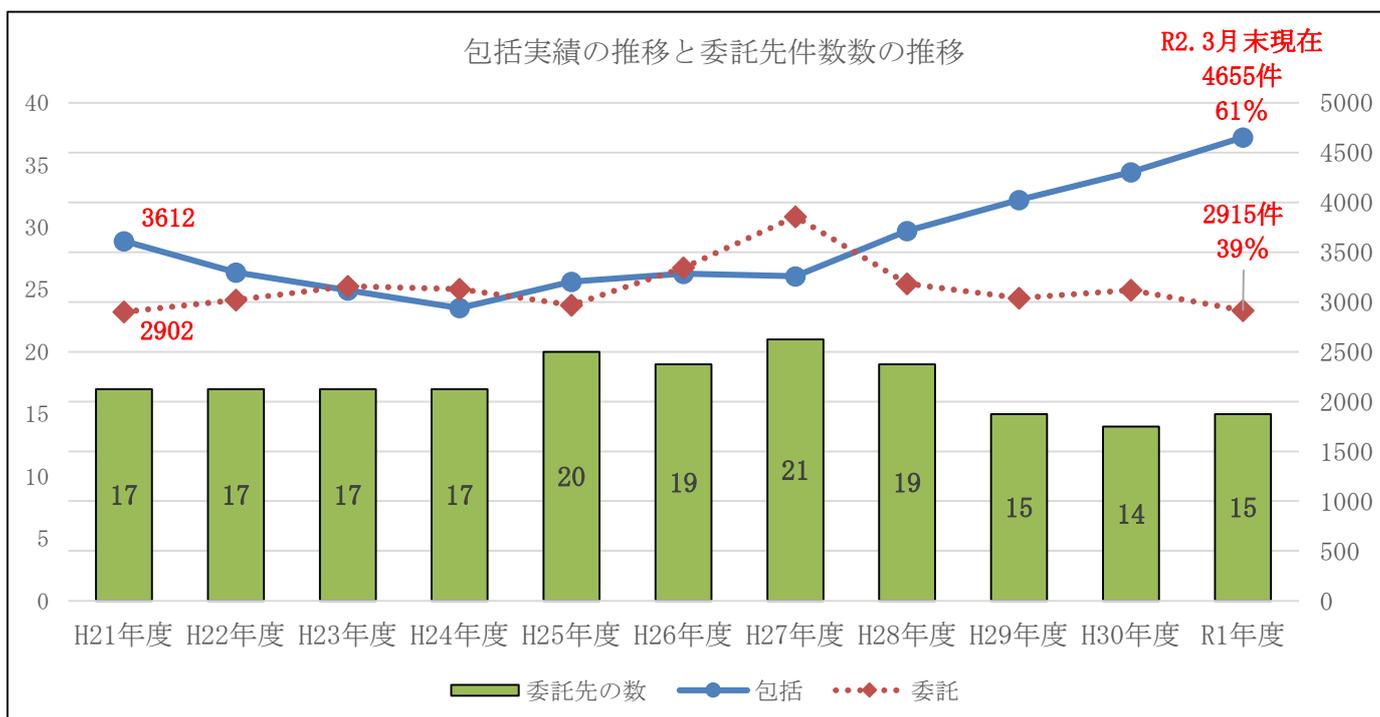
IV. 介護予防ケアマネジメント業務

予防給付ケアマネジメント実績				
要介護度	支援1	支援2	事業対象者	合計
包括支援センター	2,452	2,188	15	4,655 (61%)
委託分 (14カ所)	1,135	1,780	0	2,915 (39%)
合計	3,587	3,968	15	7,570

分類	新規		継続		事業対象者	計			合計
	介護予防	総合事業	介護予防	総合事業		介護予防	総合事業	事業対象者	
包括支援センター	82	43	3,013	1,502	15	3,095	1,545	15	4,655
委託分 (15カ所)	54	27	2,112	722	0	2,166	749	0	2,915
合計	136	70	5,125	2,224	15	5,261	2,294	15	7,570
	206		7,349						

○委託先一覧

1	日立記念病院居宅支援室	6	エプロンの会	11	いきいきの郷はくた
2	ケアプランやすぎ	7	居宅介護支援事業所 宇波	12	居宅介護支援事業所 たかつ
3	しらすぎ苑 在宅介護支援センター	8	介護計画センター	13	ケアプラン孫の手
4	JA 居宅介護支援事業所	9	広瀬介護 サポートセンター	14	居宅介護支援事業所 コーポ上口
5	在宅介護支援センター ひろせ	10	介護支援ともらいふ	15	ケアマネジメントくるみ



VI 一般介護予防事業「住民運営通いの場／こけないからだ体操」

1. 実施地区

- (1) 島田交流センター (安来市穂日島町 485)
- (2) 日次集会所 (安来市伯太町日次)
- (3) 広瀬町帳集会所 (安来市広瀬町町帳)

2. 実施団体

- 新 (1) 梨の花クラブ 11名 (年齢 72～94 歳) (男性 0名 女性 11名)
- 新 (2) 日次女性部 15名 (年齢 66～83 歳) (男性 0名 女性 16名)
- (3) 町帳有志 9名 (年齢 68～84 歳) (男性 1名 女性 8名)

3. アドバイザー

- ①理学療法士 (安来市立病院・安来第一病院・医師会診療所)
- ②管理栄養士 (いきいき健康課・安来市栄養士会) ③歯科衛生士 ④保健師 (介護保険課)

4. スケジュール

(1) 島田地区「梨の花クラブ」

①5月17日(金)より開始 ②毎週1回(金)午前10時より30分程度 (講義の時は1時間)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内容	講座説明 *体力測定 ①生活アンケート		栄養指導 ★運動指導 (包括)	口腔指導		★参加者主体の運動 ★交流会	*体力測定 ①生活アンケート				

(2) 伯太地区「日次女性部」

①5月30日(木)開始 ②毎週1回(木)午前10時より30分程度 (講義の時は1時間)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内容	認知症予防講座 講座説明	*体力測定 ①生活アンケート		栄養指導 ★運動指導 (包括)		口腔指導 ★交流会	★参加者主体の運動	*体力測定 ①生活アンケート			

5. 開催方法

(1) 支援期間

- ①3か月間、担当職員が一緒に行い、参加者主体の運営になるように支援。
- ②3か月後は、参加者主体の運営で実施

(2) 取組方法：「こけないからだ体操」(掛図及び各自ファイルを活用)

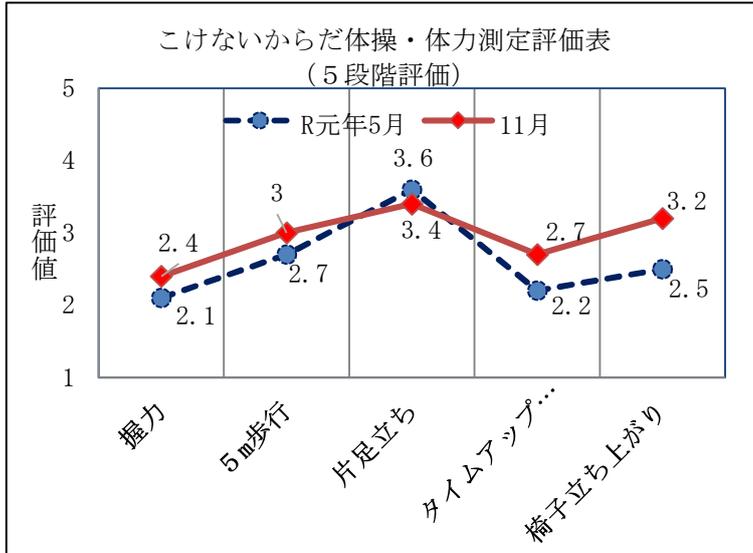
- ①準備体操
- ②歌を歌いながら6種類のゆっくりした軽運動(上肢や椅子を使った下肢動動)
- ③整理体操

6. 効果検証

- ①評価：体力測定を行ない、効果測定及び変化の把握を行ない実施前、6ヶ月後に理学療法士による評価を実施。

7. 体力測定評価結果

(1) 島田地区



【理学療法士評価】

1)効果があった内容：すべての運動

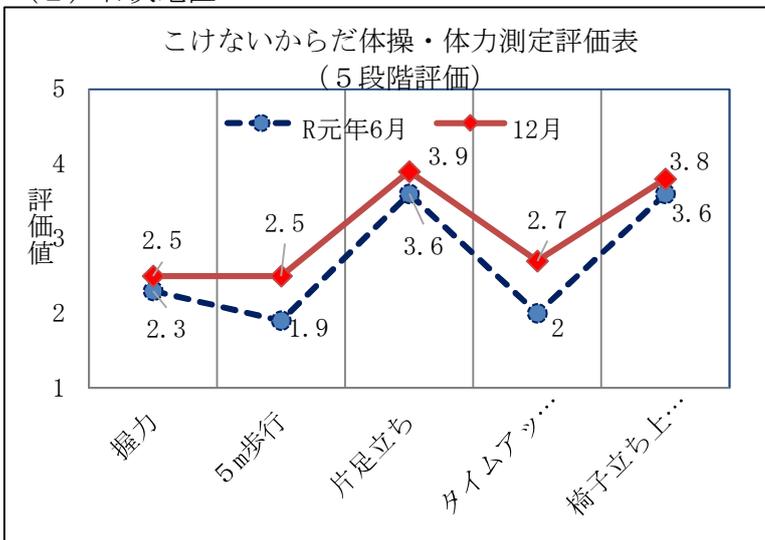
2)理由：

- ①筋力が評価結果に影響が大きいと考えられる
- ②いずれも向上が見られ筋力効果があった
- ③「生活での変化」にもあらわれている

3)その他：

- ①世代を問わず(90歳以上でも)継続した運動により筋力などの身体機能が向上する事を再認識出来た
- ②身体機能のみでなく「おしゃべりが楽しい」など社会参加・交流などが色々なところに効果が波及している

(2) 日次地区



【理学療法士評価】

1)効果があった内容：すべての運動

2)理由：

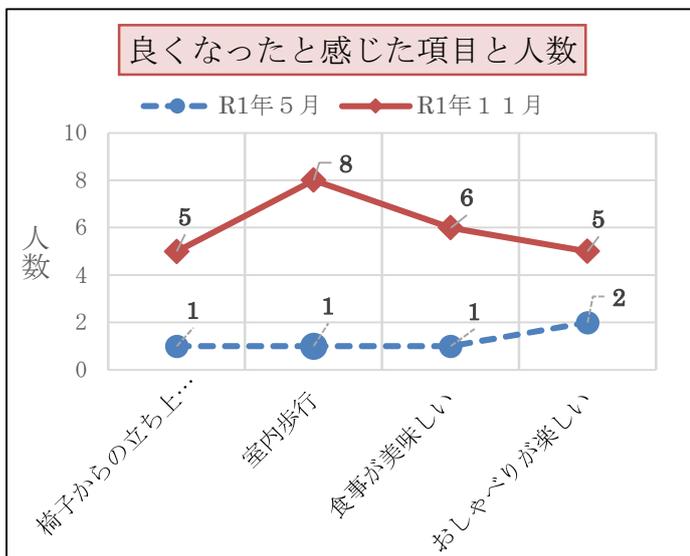
- ①普段動かさない筋肉を意識して動かす事で体幹、骨盤周囲がしっかりとした
- ②筋力運動のゆっくりとした動きは、筋肉に軽い負荷をかけながらの運動となり続ける事で使った筋肉がしっかりと働くようになった

3)その他：

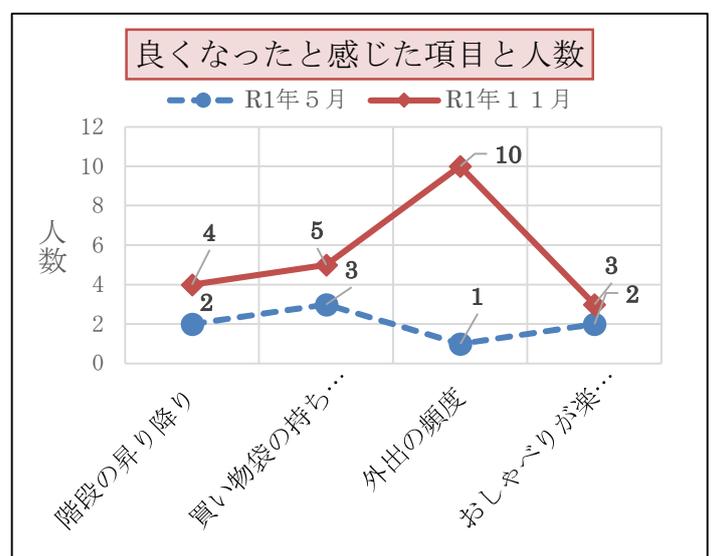
- ①半年間の運動で全体評価値が上がっていたので今後継続し更なる体の変化が期待できる。
- ②皆が積極的に参加し人とのつながりが充実した

8. 参加者自身の変化～生活の変化アンケート結果から

1. 島田地区



2. 日次地区



Ⅶ 認知症施策推進事業

1. 認知症の早期発見 早期支援

(1) 相談体制の強化

認知症地域支援推進員による個別相談

新規 72 件 継続 43 件 合計 115 件 (令和 2 年 3 月現在) 延べ支援回数 1139 回

総合相談における「認知症の人」についての相談件数は前年度 (747 件) よりも更に増えており、2.21 倍の 1,656 件であった。このうち、継続しての支援が必要なケースは、必要に応じて認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームで対応している。

(2) ネットワーク機能の強化

①個別地域ケア会議開催事例

一人暮らしで外出を強く拒否する認知症の高齢者の在宅生活を支えるため、成年後見人制度につながるよう、会議を開催。12 月より成年後見人制度利用開始。あわせて、緊急時の対応や在宅生活が継続できる方策についても話し合った。現在も在宅生活が継続できている。

会議参加機関：かかりつけ医、安来市役所、安来市認知症疾患医療センター、介護支援専門員、サービス事業所、安来市社会福祉協議会、権利擁護センター、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員

②認知症初期集中支援チームの実施

支援対象者 52 人 (前年度 24 件) 延べ支援回数 561 回

延べ訪問回数 240 回 電話回数 238 回 来所回数 15 回 その他回数 68 回

チーム員会議開催数 6 回 (6 月 18 日、9 月 4 日、11 月 15 日、1 月 17 日、2 月 17 日、3 月 2 日)

2. 認知症高齢者及び家族を支援する体制の確立

(1) 在宅生活支援の体制づくり

①認知症講演会 ～共につくろう若年認知症の方が就労を可能にするための安来づくり～

期 日 令和元年 9 月 21 日 (土)

会 場 安来商工会議所 大ホール

参加者 141 名

内 容 若年認知症当事者の丹野智文氏、藤田和子氏による講話&トークセッション

新②安来市男性介護者のつどい

期 日 令和 2 年 1 月 18 日 (土)

会 場 和鋼博物館 体験学習室

参加者 4 名

内 容 ピアカウンセリング方式で日頃の介護やリフレッシュをするための方法等について話し合った。

新③「山陰どまんなかプロジェクト」 ～本人交流会の開催～

認知症当事者同士が語り合い、やりたいことや希望を実現していくことを目的とした交流会。安来市・松江市・米子市等県を跨いで毎月1回開催。別室で家族のつどいも実施し、介護者の悩みを語り合ってもらった。

期 日	会 場	参加 当事者数	備 考
令和元年9月21日(土)	安来グランパ	9名	講演会講師2名参加
令和元年10月25日(金)	わだや小路	4名	
令和元年11月22日(金)	和鋼博物館 市民ギャラリー	7名	
令和元年12月27日(金)	わだや小路	7名	
令和2年1月31日(金)	和鋼博物館 市民ギャラリー	5名	
令和2年2月27日(木)	わだや小路	7名	
令和2年3月30日(月)	新型コロナウイルス感染拡大の予防で中止		

④家族介護者への支援

認知症家族の集い

4月	2名	安来中央交流センターで 毎月第3月曜日に実施 奇数月は、認知症の人と家族の会の方に来ていただき、具体的なアドバイスを受ける機会を設けている。 継続して参加される方も出てきており、今後、会の中心的役割を担っていただくことが期待される。
5月	2名	
6月	7名	
7月	2名	
8月	1名	
9月	1名	
10月	1名	
11月	3名	
12月	3名	
R2 1月	3名	
2月	2名	
3月	1名	
計	28名	

3. 基盤整備

(1) 認知症サポーター養成講座 開催回数 9回 延べ受講者人数 238人

開 催 日	団 体 名	人数
6月19日	にんじんの会	19
8月28日	あかやてごする会	20
9月17日	栄町2ミニサロン	9
9月25日	島根県立安来高等学校	19
10月16日	南城谷ミニサロン	16
10月17日、18日	島根県立情報科学高等学校	91
10月30日	安来警察署	25
12月6日	そうごう薬局やすぎ店	8
1月15日	安来市立第二中学校	31
計		238

※安来高校・情報科学高校は安来第一病院主催

(2) 認知症に関する出張講座 開催回数 4回 延べ受講者数 66人

開催日	講座名	依頼先	人数
4月17日	認知症について	広瀬地区民生委員児童委員協議会	27
5月31日	認知症講話	町帳	11
12月2日	認知症講話	とかみサロン	15
12月18日	認知症予防講座	南城谷ミニサロン	13
1月23日	認知症講話	上十年畑ミニデイ	14
計			80

(3) その他の活動

月日	項目	会場	備考
7月29日	本人交流会開催準備会	米子市 わだや小路	スタッフとして
8月2・3日	地域の認知症予防リーダー養成講座	鳥取市 さわやか会館	講師として
9月29日	十神地区文化祭	安来中央交流センター	タッチパネル利用
10月26日	認知症サポーターステップアップ研修	安来第一病院	スタッフとして
11月9日	赤屋農業文化祭	赤屋交流センター	タッチパネル利用
12月8日	食と歯のフェスティバル	安来中央交流センター	タッチパネル利用
12月14日	住民で取り組む認知症予防鳥取県大会	国際ファミリープラザ	スタッフとして
2月20日	地域の認知症予防リーダー養成講座	米子市ふれあいの里	講師として

※地域の祭りやイベントに参加し、タッチパネルを用いた簡易検査ができることを周知した。

新 (4) 「もの忘れトレーニングプログラム(ものトレ)」実施による認知機能への効果の検証

鳥取大学と共同研究により、こけないからだ体操実施後、もの忘れトレーニングを毎週行うことにより効果検証を実施。3月第1週まで実施したが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、3月第2週より中断している。

日次女性部 ものトレ実施状況

月	日	実施人数	月	日	実施人数	月	日	実施人数	月	日	実施人数	月	日	実施人数
6	6	11	7	4	12	8	1	12	9	5	12	10	3	8
	13	13		11	14		8	12		12	10		11	
	20	14		18	11		22	10		19	11		17	10
	27	12		25	14		29	11		26	11		24	8
														31
11	7	10	12	5	12	R2.1			R2.2	6	9	R2.3	5	9
	14	10		12	9		9	11		13	12			
	21	10		19	11		16	12		20	11			
	28	9		26	11		23	9		27	11			
							30	11						

新（5）令和元年度若年認知症調査

- 【調査期間】 令和元年6月18日～令和元年7月12日
【調査対象】 安来市内の商工会議所・商工会の会員事業所のうち
従業員数5名以上の事業所 146社
【調査方式】 訪問/留置法によるアンケート方式
【回収率】 100%
【有効回答率】 95.8%
【主な回答内容等】

- 若年認知症の方が就労をしていますか
就労していると1件回答あったが、どのような対応をしたかの設問には「不明」と回答している。就労しているかわからないという回答は15件あった。
- どのような支援を行うことができますか
「支援をしたいが現状では難しい」と回答した事業所の理由として、
・配置換えをしたくても、配置できる場所が浮かばない
・病状・能力を理解したうえで判断したい
・日常での同じ作業がないために、専属で指導する人材が必要になり経費がかさみ総合的に困難と考える。・技術職だから・危険な仕事だからといった回答があった。
- 認知症のご家族を介護されている従業員がいますか
16%の事業所が「介護をしながら働く従業員がいる」と回答している。
「介護をしているかどうかわからない」と回答した事業所の中には理由として、
個人情報なので聞くわけにはいかないとの回答もあった。
- どなたを介護していますか
母親の介護が全体の69%を占めていた。
- 介護されている従業員への対応（具体的な取り組み内容）
・有給を1時間30分単位でとれるようにした。
・急な事があった時や朝早く来れない時は（他の職員に）対応してもらった。
・勤務形態を本人が調整している。調整出来るよう社員が協力している。
・勤務形態を柔軟にし、日々話を聞くようにしている。（生活面で困っている事など）
・出勤時間の配慮 等の回答があり、就労継続ができるよう支援されていた。
- 認知症サポーター養成講座の実施について
実施してみたい、検討したい、内容を知りたい、と回答された事業所が38社あった。

【調査結果より見えてきたもの】

- 若年認知症の方の就労について
・若年認知症を発症された方が就労を継続したいと考えたとき、107社（76.4%）が何らかの支援を行いたいとの回答があった。
・「認知症」という言葉は知っているが、「若年認知症」についての理解はまだ進んでいない。
・就労を継続できる支援制度があるが、周知されていない。
- 介護をしている従業員への支援について
・介護しながら働いている従業員に対し、95%が支援できる方法を工夫していた。
・個人情報やプライバシーに配慮した結果従業員自らが申し出ないと、会社としては把握しにくい現状がある。

【取り組むべき課題】

- （1）相談窓口の周知
（制度やサービス利用の紹介／休日相談の充実）
- （2）若年認知症の理解のための支援
（事業所におけるサポーター養成講座等）
- （3）ご本人・ご家族が気軽に相談できる居場所づくりの充実
（本人交流会・家族介護者のつどい等）

Ⅷ. 組織運営

1. 情報発信の強化

新(1) 包括支援センター「愛称」の制定

令和元年7月4日に実施された「令和元年度第1回安来市介護保険運営協議会」において、安来市地域包括支援センターの愛称が「高齢者まると相談センター」に決定された。

新(2) ホームページの開設

①内容

7月4日の介護保険運営協議会にて承認を得て、7月8日から公開した。

包括事業の情報、各種講演会のチラシ、行事の様子等を随時掲載・更新している。

②掲載項目・記事

ア. 包括支援センター概要

イ. 事業計画・事業報告・包括評価

ウ. 認知症施策総合推進事業 本人交流会日程、認知症講演会案内

エ. 地域ケア会議 校区别ケア会議要項・開催時の様子、自立支援型CM会議の概要・開催時の様子

オ. 介護予防 こけないからだ体操の内容、紹介映像、交流会の様子

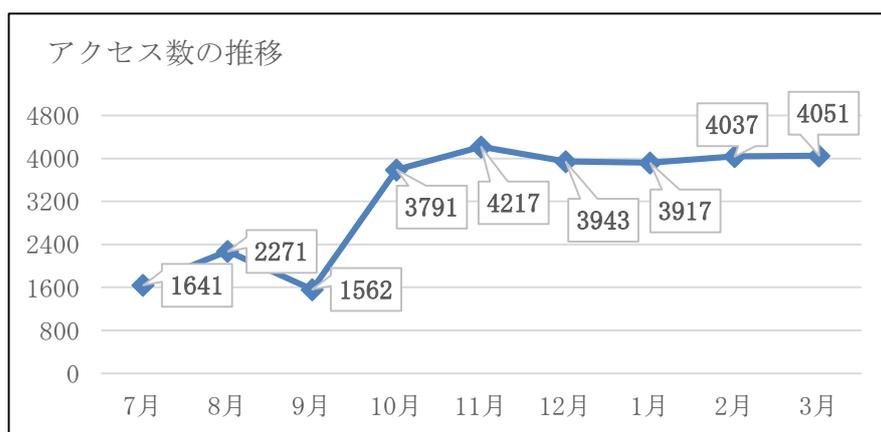
カ. 権利擁護 権利擁護セミナーの要項、消費被害・虐待の注意喚起記事

キ. その他 包括ニュースレター バックナンバー掲載

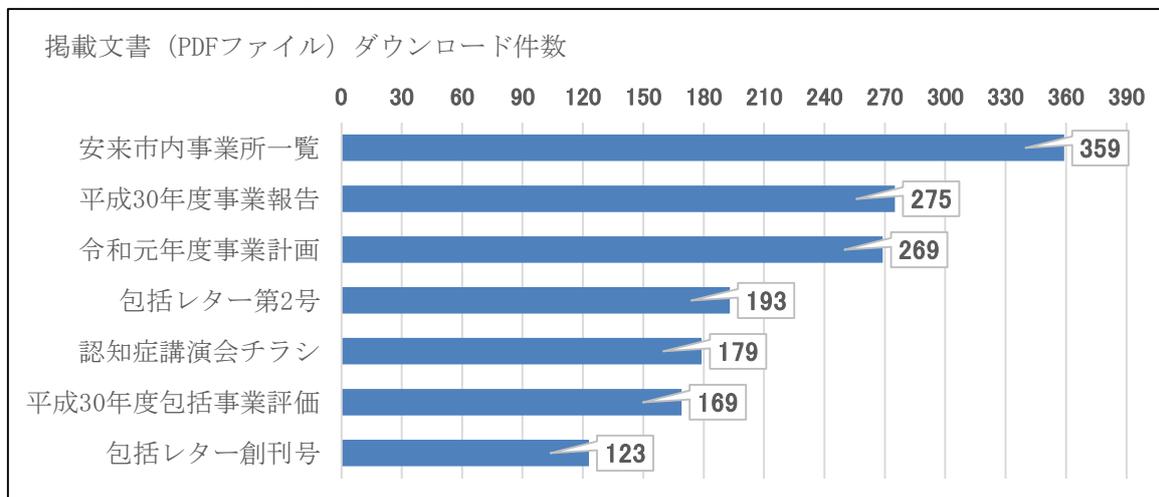
ケアマネから包括への連絡シート、地域見守り(気づき)シートのPDFファイル、入力フォーム

③アクセス・閲覧数

月	アクセス数
7月	1,641
8月	2,271
9月	1,562
10月	3,791
11月	4,217
12月	3,943
R2年1月	3,917
R2年2月	4,037
R2年3月	4,051
7月～3月計	29,430



④掲載文書ダウンロード件数



新(3) 包括ニュースレターの発行

包括事業の告知・内容を掲載し、年4回を目安に発行。市内の事業所、関係機関、市内民生児童委員、各交流センターなどに発送するとともに、ホームページにバックナンバーを掲載している。

- ①創刊号 4月15日発行 300部
 - ア. 休日相談の内容、日程の告知
 - イ. 時間外電話対応の告知
 - ウ. H30年度こけないからだ体操の内容、半年後の成果報告
 - エ. 若年認知症の実態調査結果報告
 - オ. 若年認知症講演会、本人交流会実施報告

- ②第2号 8月8日発行 300部
 - ア. 包括支援センターの愛称「高齢者まるごと相談センター」の紹介
 - イ. 包括ホームページ開設の告知
 - ウ. 自立支援型ケアマネジメント会議の取り組み報告
 - エ. 時間外相談受付、休日相談の実施状況報告
 - オ. 新地区でのこけないからだ体操の取り組み報告
 - カ. 認知症講演会、本人のつどい開催告知

- ③第3号 11月29日発行 300部
 - ア. 安来市地域ケア推進会議の開催告知
 - イ. 時間外相談受付、休日相談の実施状況、事例報告
 - ウ. 校区別地域ケア会議開催報告
 - エ. こけないからだ体操 3地区交流会の開催報告
 - オ. 認知症本人交流会の開催報告

- ④第4号 3月23日発行 300部
 - ア. 令和2年度休日相談の案内
 - イ. 安来市地域ケア推進会議の報告
 - ウ. 男性介護者のつどい報告
 - エ. 若年認知症企業実態調査の報告
 - オ. こけないからだ体操1年間の結果報告

2. 行事等

(1) グループホーム等運営推進会議等、各種会議出席状況

会 議 名 等	開 催 日	備 考
きららの家&ことぶきの家&昌寿の家運営推進会議	5/27、7/22、9/24、11/25、1/27	延べ 5名
かがやきの園運営推進会議	5/15、7/10、9/11、11/13、1/15	延べ 5名
やすらぎの園運営推進会議	7/10、1/15	延べ 2名
絆、やすぎの郷運営推進会議	4/11、6/13、8/8、10/10	延べ 4名
荒島ふれあいの郷運営推進会議	5/9、7/11、9/12、10/10、12/12、2/13	延べ 6名
かも運営推進協議会	7/10、9/11、11/13、1/8	延べ 4名
ソレイユあらしま運営推進会議	5/10、7/12、11/8	延べ 3名
なごみ運営推進会議	5/28、7/23、9/18、11/20、1/22	延べ 5名
久遠の響運営推進会議	4/15、6/10、8/21、10/21、12/9、2/10	延べ 6名
ひだまりの里&サテライトふべ運営推進会議	5/24、7/25、9/26、11/28、1/23	延べ 5名
ふるさと母里運営推進会議	6/19、8/21、10/23、12/18、2/19	延べ 5名
伯寿の郷運営推進会議	5/21、9/17、11/19、1/21	延べ 4名
和み館運営推進会議	6/19、12/18	延べ 2名
比田ディサービス運営推進会議	8/20、2/18	延べ 2名
JA やすぎディサービスセンターふれあい運営推進会議	6/28、2/25	延べ 2名
レッツ倶楽部安来中央運営推進会議	4/23、10/15	延べ 2名
しらさぎ苑第一ディサービス運営推進会議	8/27、2/27	延べ 2名
松江総合医療専門学校等実習生受け入れ等		
島根県立医大看護学科実習生受け入れ等		
島根総合福祉専門学校 社会福祉士実習受け入れ等		
島根県地域包括支援センター連絡会&理事会	7/2	
安来市介護保険運営協議会	7/4、2/6	
第1回島根県老人福祉計画・介護保険事業計画策定委員会	7/5	
安来市健康推進会議総会	8/1	

会 議 名 等	開 催 日	備 考
安来市地域介護保険サービス事業者連絡会総会&研修会	8/5	
せんだん会創立 65 周年記念式典	11/16	
おたがいさま まつえ・やすぎ 15 周年のつどい	10/26	
松江圏域 健康長寿しまね活動推進交流会	11/21	
消防・消防業務全般一日体験	11/11	
市町村介護保険担当職員データ活用ワーキング	7/26、8/28、9/26	
安来市食育推進会議	2/19	
包括支援センター・在宅医療支援センター合同連絡会	10/29	
包括支援センター職員会	毎月	
市介護保険課との連絡会	毎月	

(2) 職員の研修状況

月	日	研 修 名	会 場	備 考
5	17	社協職員並びに包括職員研修会	広瀬社会福祉センター	
6	7	新人介護支援専門員研修	広瀬社会福祉センター	
	25～26	地域包括支援センター職員基礎研修（全社協）	京都テルサ	
	25～27	主任介護支援専門員更新研修（県福祉人材センター）	くにびきメッセ	
7	11	介護認定調査員現任者研修（介護保険課）	安来市健康福祉センター	
	12～13	広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会職員研修	広島市総合福祉センター	
	17～19	主任介護支援専門員更新研修（県福祉人材センター）	くにびきメッセ	
8	1～2	認知症地域支援推進員研修【新任者研修】（社会福祉法人浴風会）	名古屋国際会議場	
	2～3	地域の認知症予防リーダー養成講座	鳥取市さわやか会館	
	20～21	主任介護支援専門員更新研修（県福祉人材センター）	くにびきメッセ	
	25	認知症研修会	島大医学部	
10	4	後期生活支援コーディネーター養成研修【理論編】（県・県社協）	松江合同庁舎	
	8	第4回ケアマネジャー向けセミナー（錦海リハ病院）	錦海リハビリHP	
	19	第2回公開セミナー（安来市在宅医療支援センター）	安来市防災研修棟	

月	日	研 修 名	会 場	備 考
10	26	認知症サポーターステップアップ研修（安来第一病院）	第一病院	
	31～1	認知症地域支援推進員研修【現任者研修】	大阪	
11	11	高齢者の自立支援・介護予防推進研修会（県高齢者福祉課）	タウンプラザしまね	
	13	府中市居住支援セミナー（府中市・国交省・厚労省）	府中市保健福祉総合センター	
	16	医療従事者・介護保険施設等勤務者向け認知症対応力向上研修	安来第一病院	
	26～27	認知症地域支援推進員研修【新任者研修】（認知症研修センター）	大阪	
	28～29	認知症地域支援推進員研修【現任者研修】（認知症研修センター）	大阪	
12	5	認知症サポーター活動促進事業「チームオレンジ」研修会	ニューウエルシテイ出雲	
	8	食と歯のフェスティバル in やすぎ（安来市）	安来中央交流センター	
	9	総合事業推進セミナー（中四国厚生局）	新日本海新聞社中部本社	
	9	第6回ケアマネジャー向けセミナー（錦海リハ病院）	錦海リハビリテーション病院	
	18	結核研修会	いきいきの郷はくた	
	19～20	認知症地域支援推進員研修【現任者研修】（社会福祉法人浴風会）	TKP ガーデンシテイ田町	
1	15	令和元年度介護支援専門員実務研修	くにびきメッセ	
	23	第6回在宅看取り勉強会	安来中央交流センター	
2	5	高齢者虐待防止研修会	アルテピア	
	10	第8回ケアマネジャー向けセミナー（錦海リハ病院）	錦海リハビリテーション病院	
	17～18	高齢者虐待対応現任者標準研修	出雲合同庁舎	
3	13	認定調査員研修（現任）	松江市民活動センター	

(3) 職員の派遣状況

月	日	研 修 名	会 場	備 考
4	12	認知症にならない方法について（梶福留老人会）	湯田山荘	
	17	認知症の方への具体的な支援研修（広瀬地区民協）	広瀬社会福祉センター	
5	16	ターミナルケア研修会（安来市在宅医療支援センター）	いきいきの郷はくた	
6	1	福祉のプロフェッショナルのトークセッション（県社協）	くにびきメッセ	
	3	伯太地区民生児童委員協議会総会	富田山荘	
	5	安来地区民生児童委員協議会総会	安来中央交流センター	

月	日	研 修 名	会 場	備 考
6	11	健康について（ミニサロンさくら会）	広瀬交流センター	
7	16	介護予防体操とゲーム（栄町2ミニサロン）	広瀬社会福祉センター	
	24	介護予防について（森口ミニサロン）	森口公会堂	
8	25	安来市地域医療を守る交流会（いきいき健康課）	和鋼博物館	
9	17	認知症について（栄町2ミニサロン）	栄町集会所	
	26	ミニデイ大塚畷	大塚交流センター	
	26	口腔&こけないからだ体操（さわやかサロン）	広瀬社会福祉センター	
	29	十神地区文化祭健康コーナー	安来中央交流センター	
11	9	赤屋地区農業文化祭 健康チェック（赤屋地区健康推進会議）	赤屋交流センター	
	15	介護予防の話とゲーム（たけのこサロン）	湯田山荘	
	16	介護予防・こけないからだ体操（南城谷健康教室）	南城谷公民館	
	18	介護予防・認知症について（比田ミニデイかえるの会）	比田交流センター	
	22	介護予防の話とゲーム（母里ミニデイ）	母里交流センター	
12	2	認知症について（ミニデイとかみサロン）	やすぎ懐古館一風亭	
	12	健康教室・認知症予防について（飯梨地区健康づくり推進協議会）	梨の木園	
	13	介護予防について（川原ミニサロン）	川原公会堂	
	18	南城谷ミニサロン友の会	南城谷公民館	
1	15	いきいき健康・こけないからだ体操（南城谷ミニサロン）	南城谷公民館	
	20	こけないからだ体操（ミニデイサービスとかみサロン）	やすぎ懐古館一風亭	
	23	包括支援センターの役割とこけないからだ体操（西中津町ミニサロン）	西中津公会堂	
	23	安来市食生活改善推進員フレッシュアップ教室	安来市健康福祉センター	
	23	詐欺及び認知症予防講座（上十年畑ミニデイ）	常磐公民館	
	28	介護支援専門員実務研修（実習オリエンテーション）	くにびきメッセ	
2	4	介護者教室	いきいきの郷はくた	
	26	介護保険とゲーム（森口ミニサロン）	森口公民館	
3	3	介護支援専門員実務研修（実習振り返り）	くにびきメッセ	